✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧✧

✧　緊急地震速報利用者協議会が平成 25 年度定期総会を開催しました

緊急地震速報利用者協議会の平成 25 年度定例総会が、7 月 4 日午後に東京都千代田区の日本教育会館において、来賓として気象庁　橋田地震火山部長にご臨席いただき開催されました。

今年の総会は 2 年毎の役員の改選期にあたり、会長には阿部勝征東京大学名誉教授、副会長には高橋正行東日本電信電話株式会社取締役が選出されました。また、役員には理事、監事として立候補された 10 名の会員が選出されました。

平成 24 年度の活動報告案や同収支決算案､平成 25 年度の活動方針案及び同予算案は原案通り、満場一致で了承されました。

議事終了後、気象庁から「長周期地震動について」と題して気象庁地震火山部地震津波監視課の中村地震動予測モデル開発推進官から、長周期時地震動はどうして発生するか。動画を使った長周期地震動の事例。今後の検討課題について説明がありました。

講演では、気象研究所地震火山部第四研究室の干場室長から「リアルタイムの地震動波形予測：次世代の緊急地震速報を目指して」と題して、緊急地震速報における迅速化と震度予測の精度向上、さらには時間的予測の導入を目指した新しい処理手法の研究について、わかりやすい講演をいただきました。出席された会員の方からは、緊急地震速報に係る最先端における研究の一端を聞くことができたと、大きな反響や今後への期待の声が聞かれました。

（気象業務支援センター　配信事業部）